

(担当：北見市立中央小学校 細木 亜由美)

1 教科・対象学年

- (1) 教科等 総合的な学習の時間 (全16時間)
- (2) 学年 5年

2 ねらい

道路の役割と進化について学ぶ活動を通して、道路が自分たちの生活に密接に関わっていることに気づき、調べてわかったことや考えたことを情報発信しながら、地域の魅力や産業、人々の暮らしをよりよくするための未来の道について今後どうあるべきか、考えていくことができる。

3 題材について

- (1) 道の駅について ※1

道の駅は道路利用者のための「休憩機能」、道路利用者や地域の人々のための「情報発信機能」、道の駅を核としてその地域の町同士が連携する「地域の連携機能」という3つの機能を併せ持つ。

- (2) 旭川・紋別自動車道 丸瀬布遠軽道路の開通 ※2

令和元年12月21日に開通。今回の開通により期待される主な効果が①オホーツクから出荷される水産品の輸送効率化②道央圏とのアクセス向上により外国人観光の活性化③高次医療施設への救急搬送の速達性・確実性の向上 の3点である。

4 展開例

- (1) 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	道路や道の駅は、地域の産業や人々の生活に密接に関わっていることを理解している。	道路や道の駅についての情報収集を通して、情報を整理し、自分の考えを表現することができる。	意欲的に体験活動や情報収集し、すべての人が幸せになる「未来のみち」について考えることができる。

- (2) 展開例

	学 習 活 動	指導上の配慮事項等
一時間目	<p><b>道路と 私たちの生活</b></p> <p>道路があって、よかったと思うことは？</p> <hr/> <p><b>道路と わたしたちの生活は、どのような関わりがあるのだろう。</b></p>	<p>自分の身近な生活と道路は、どのような関わりがあるか、気付かせる。※3ワークシート</p> <hr/> <p>本単元で、学ぶべきことの意識付け・意欲付けをする。昔から現在に至るまでの道のり=みち学習についておさえる。</p>

二時間目

### 道路は進化している!?

通勤している先生から、話を聞いてみよう。

自分の学校で、他市町村から通勤している先生にゲストティーチャーできてもらう。「道路がよくなったなあ。」「それでも大変だ。」と感じることを話してもらう。トンネル開通や高規格道路、防雪柵等にも触れてもらう。

三〜五時間目

### 「道路の進化」を感じるか？ 他の人にも聞いてみよう

インタビュー

アンケート

道路がよくなってよかったこと・さらに改善されるとよいこと等を、インタビューやアンケートで調査する。対象は、学校の先生方や家族だとコロナ禍でも可能か。できれば、仕事・産業・病院に関係する人々に聞きたいので、農業・水産業・工場関係者・商業・お年寄り…に聞けるといい。

六〜八時間目

### 「よい道を維持」していくために

メンテナンス

道はさらに進化するの？

開発の人に、話を聞いてみよう。

**道の駅**の役割はいろいろあるんだね！

開発の方にゲストティーチャーで来てもらう or 開発局に見学に行く。「誰もが自由に移動、交流、社会参加できる社会」を目指していることや、自動運転、ロボット・ドローン配送、道路そのものが観光資源化、災害、低炭素化、AIによる点検等に触れてもらう。また「道の駅」の役割について話してもらう。

九〜一二時間目

### 道の駅に行ってみよう

**道の駅の3つの機能**って、実際はどこを指しているの？

ゲストティーチャー（開発または観光協会）に、具体的にどの部分を指しているのかを説明してもらう。また、オホーツク産ホタテの輸送路、流水観光・花観光、高次医療施設への救急搬送についても触れてもらう。その後、道の駅で楽しむ時間を確保し、実感させる。

一三〜一六時間目

### 「未来に続くみち」について、学んだことや自分の考えを、伝えよう

- ・どんな取り組みが大事か？
- ・どこに力を入れてほしいか？
- ・さらにやるべきことは？

自分なりの考えを町の人々に伝えよう。

これからも人々の幸せにつながる道路について、考えていこう。

学んだことを新聞・ポスター・パンフレット・リーフレット等にまとめ、町内の施設（道の駅、木楽館、図書館等）に掲示してもらう。学習で得た情報を整理・分析するとともに、必ず自分の感じたことや考え・提案を入れることとする。

## 5 板書計画

### 1時間目(1/16)

※3 ワークシート別資料

未来へ続くみち

道路とわたしたちの生活はどのような関わりがあるのか、調べよう。

他の地域からくる観光客は?

※4 通勤者が多い

酪農家…除雪が早く入るなぜ?

難しい病気・手術は大きな病院

**道路があつてよかったこと**  
(ワークシート拡大)

買い物  
映画  
温泉  
観光  
スポーツ  
仕事  
酪農(産業)  
病院

道路がなかったら

← がまんする

**がまんできない・大変! どうする?**

**わたしたちの生活をよりよくするためには、どんな道路が必要だろう。**

- 児童と関わりのある事柄からスタート。自分ごととして捉えさせる。
- 「自分が他地域に出て行く」ことから、「他地域から来る」(例えば、観光や仕事、自然)や、「地域間の連携」(例えば、酪農家→工場、農家・漁師→出荷、地域の病院→高次医療施設)に考えを拡げさせる。

※4 どんなに大雪が降っても、どんなに山中にあつても牛舎のある酪農家の前の道路が早くに除雪が入るそうです。朝、搾乳した牛乳を、佐呂間町にある森永乳業佐呂間工場まで運ばないと、商品にならないそうです。オホーツク管内には他に、よつ葉乳業オホーツク北見工場(紋別市)、雪印メグミルク興部工場(興部町)等があります。

搾乳して○時間以内に加工しないと廃棄処分になると聞いたことがあります。

### 2時間目(2/16)

未来へ続くみち

昔～通勤者はそれほど多くない

なぜ?

→

今～増えている

道路がよく  
なっている?

道は進化しているのだろうか。通勤している先生に聞いてみよう。

予想

- ・道路の幅が広く
- ・いたんだ道路を直す
- ・カーブを直線に

・車が一家に何台も

・トンネル

写真・イラスト

・高規格道路

写真

・防雪柵

写真

**動時間が短く!  
便利になった**

**それでも  
冬道は危険**

**くらしの変化とともに、「道」は進化している。**

他の人も進化を感じているのかな?

- 次時から、自分の周りの人々にも「道」についてインタビュー・アンケートをしていくことを予告する。